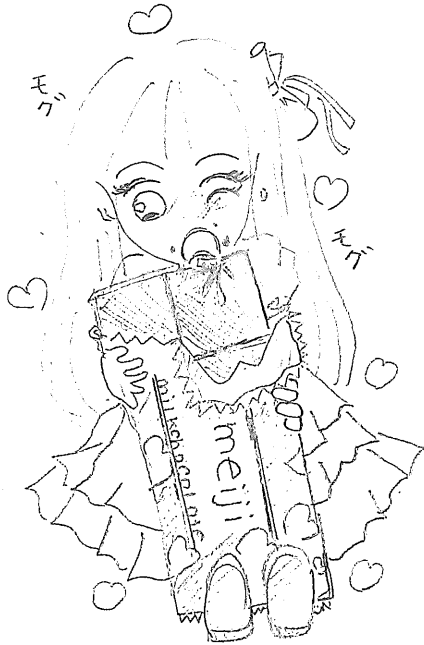


旅立ち

社会福祉法人しらとり会
当事者通信 (NO. 99)
令和 5 (2023) 年 12 月 1 日発行

今月は、3 名の方からの投稿です。



MISIA 論 (その2)

「アイノカタチ」という曲は GREEN HIDE が作った名曲だと思う。「Everything」は、ドラマ「やまとなでしこ」の曲で MISIA を代表する曲になった。又、今年、MISIA デビュー25周年である。1978年7月7日生まれたから45歳。デビュー曲「つつみ込むように」で鮮烈なデビューをした MISIA も25年走り続けてきたわけである。長崎県出身で、同郷のさだまさしからも楽曲提供を受けたりしている。彼女の作詞がなぜこんなに今の時代心を打つのであろうか? 多分、不確かな時代に「希望」を歌っているのである。

(Y.Y.)

- 組織には必ず一番もビリもいる。
- 学者の中にも一番もいればビリもいる。
- 精神科医にも一番もいればビリもいる。
- 世界でトップの精神科医に治療してもらえば完治する可能性は九分九厘あるが世界でビリの精神科医に治療してもらえばビリだけに頭は悪く判断力がない為試行錯誤で治療するから患者は九分九厘廃人にされる。
- 広島県の医学は東京に比べて20年遅れていると言う東北大学の医学部の外科部長の証言もある。
- 広島県の医者が威張る道理は全くない。
- 広島県元某国立大学医学部開胸のバチスタは見事だ。

(加藤忠男)

【投稿の募集】

読んでいただいた方からのご感想をお寄せください。また、利用者の皆様からの投稿をお待ちしています。
次回の締切は、12月15日(金)です。